

平成27年度 蒲郡市財務4表の概要

貸借対照表

貸借対照表は、基準日時点における財政状態(資産、負債および純資産の残高)を表すものです。資産は、将来の収益を生み出すために保有する財産を、負債は、将来、市が返済しなければならない債務を、純資産は従来からの市の活動によって獲得された余剰(または欠損)の蓄積残高をいいます。

(単位:百万円)

資産の部	普通		連結		負債の部	普通		連結	
1 公共用資産					1 固定負債				
(1)事業用資産	104,571		137,770		(1)地方債	25,203		42,163	
(2)インフラ資産	75,523		114,659		(2)退職手当引当金	2,738		4,785	
(3)繰延資産					(3)その他	181		4,235	
2 投資等					2 流動負債				
(1)投資及び出資金	300		615		(1)翌年度償還予定地方債	2,945		4,507	
(2)貸付金	317		344		(2)その他	634		9,185	
(3)基金等	6,059		8,954						
3 流動資産					負債合計	31,701		64,875	
(1)資金	2,994		14,568		純資産の部				
(2)未収金	948		9,391		純資産合計	159,011		221,426	
資産合計	190,712		286,301		負債及び純資産合計	190,712		286,301	

平成27年度における4つの財務書類(注)を国から示された「基準モデル」により普通会計ベース及び関連団体を含めた連結会計ベースで作成しました。

(注)4つの財務書類

財務書類は、ストック(財産残高)を表す「①貸借対照表(バランスシート)」と、フロー(経常的な費用と収入)を表す「②行政コスト計算書」、「③純資産変動計算書」、「④資金収支計算書」の4つで構成されています。

市の資産と負債の状況

○市民1人当たりの資産と負債(平成28年3月31日現在人口:81,078人)

資産 普通会計 235万円 連結 353万円
負債 普通会計 39万円 連結 80万円

○純資産比率

連結 77.3% 普通 83.4%

※純資産比率…総資産のうち、純資産の占める割合を示します。負債は、将来世代の負担と考えることから、将来世代と過去の世代との負担割合を示すということが出来ます。純資産比率が高いほど、将来世代の負担軽減が図られているということがいえます。

行政コスト計算書

資産形成につながらない行政サービスに要したコストと、それらの行政サービスの対価としての使用料、手数料などの収入を表示したものです。

従来の現金主義会計のもとでは、把握できなかった減価償却費などの非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが、当該年度

(単位:百万円)

	普通	連結
経常費用	21,821	144,904
1 人にかかるコスト		
(1)人件費	6,020	11,271
(2)退職手当引当金繰入等	△ 569	△ 318
2 物にかかるコスト		
(1)物件費・経費	5,520	93,451
(2)減価償却費	1,296	2,714
(3)維持補修費	461	790
3 移転支的コスト		
(1)他会計への支出	2,155	0
(2)補助金等	1,854	31,503
(3)社会保障給付	4,726	4,727
4 その他のコスト		
(1)公債費(利払)	358	766
経常収益	1,932	107,569
使用料手数料等	1,932	107,569
純経常行政コスト		
(経常費用-経常収益)	19,889	37,335

純資産変動計算書

純資産変動計算書は、1年間に蒲郡市の純資産が、どのような財源や要因で増減したかを明らかにするものです。

具体的には、貸借対照表の純資産の部を計算するものです。純資産の増加は、現役世代が自らの負担によって将来世代も利用可能な資源を蓄積したことを意味します。

(単位:百万円)

	普通	連結
期首純資産残高	160,073	218,803
純資産の減少		
純経常行政費用	△ 19,889	△ 37,335
その他の減少	△ 1,006	△ 2,604
純資産の増加		
財源調達		
地方税	15,727	15,727
地方交付税	1,760	1,760
補助金	4,928	13,304
その他	255	13,791
資産評価替・無償受入等	△ 2,837	△ 2,020
期末純資産残高	159,011	221,426

資金収支計算書

1年間の現金の流れを示すものです。

現金の性質に応じて、経常的収支、資本的収支、財務的収支に区分されており、どのような活動に資金を必要としているかを表したものです。

また、合わせて、基礎的財政収支(プライマリー・バランス)も表します。

(単位:百万円)

	普通	連結
1 経常的収支	4,043	10,819
2 公共資産整備収支	△ 2,670	△ 2,771
3 財務的収支	△ 897	△ 2,025
当期収支	447	6,023
期首資金残高	2,547	8,545
期末資金残高	2,994	14,568
(基礎的財政収支)		
収入総額	27,600	158,389
支出総額	△ 27,154	△ 152,527
地方債発行額	△ 2,198	△ 2,723
地方債元利償還額	3,117	4,890
減価基金等増減	628	△ 2,006
基礎的財政収支	1,993	6,023

財務4表の連結範囲

普通会計

一般会計
土地区画整理事業特別会計の一部
公共用地対策事業特別会計

単体会計

国民健康保険事業特別会計
介護保険事業特別会計 後期高齢者医療事業特別会計
土地区画整理事業特別会計の一部 下水道事業特別会計
水道事業会計 病院事業会計 モーターボート競走事業会計

連結会計

蒲郡市幸田町衛生組合
一般財団法人蒲郡交通安全事業

蒲郡市土地開発公社
蒲郡港営施設株式会社
愛知県後期高齢者医療広域連合
東三河広域連合